

嘉麻市社協だより

# えがお

No.116

社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会

〒820-0205 嘉麻市岩崎1143番地3 稲築住民センター内

TEL 0948-42-0751 <http://kama.syakyo.com>

FAX 0948-83-8005 [info@kama.syakyo.com](mailto:info@kama.syakyo.com)

<https://www.facebook.com/kama.swc>

発行日/2015.10.1



## 台風15号 嘉麻市にも大きな被害



### 平成27年台風第18号による大雨災害義援金の募集について

9月17日、本会に通の封書が届きました。昨年まで嘉麻市内で地域支えあい事業や訪問介護事業を利用されながら在宅生活を続けられ、現在は、市外の施設で暮らしているSさんからでした。「茨城県常総市に送ってください。これから先寒くなってきます。お願いします。」という手紙とお金と同封されていました。テレビから流れる被災地の映像に心を痛められ、「小さな贈り物です」とあたたかいお気持ちを届けていただきました。

現在、福岡県共同募金会でも、被災された方々を支援するため、義援金を募集しています。嘉麻市支会では、稲築住民センター内の事務局と山田ふれあいハウスに募金箱を設置し、義援金を受け付けておりますので、ご協力をお願いします。

東日本豪雨で、たくさんの方が被害にあわれました。心からお見舞い申し上げるとともに被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

～平成27年度 筑豊ブロック市町村社協連絡協議会 公開講演会～



障がい者の差別と虐待を防止するために

9月2日(水)、嘉麻市なつき文化ホールで、飯塚市・嘉麻市・桂川町社協主催の公開講演会を開催し、88名の方が参加されました。特定非営利活動法人しょうがい生活支援の会すみか代表理事の芹田洋志さんに、差別や虐待を防止するためにはどうしなければならないのかを伺い、誰もが安心して暮らせる地域づくりについて考えました。

障がいって何だろう？

地域で生活する、また社会に参加する中で、不便だと感じたり安心できなかったりする『生きづらさ』を感じることもあると思います。それは、環境や文化によって変わってくるものです。

例えば、バリアフリーやユニバーサルデザインは、その生きづらさを改善する一つの手段です。他にもいろんな環境等が変われば、できること、できないことは変わってきますので、障がい個人にあるものではなく、社会にあるものと考えています。また、どんな支援者がいるかという点でもその人が感じる困りごとが変わります。

虐待、差別の防止に関する国内法の整備

我が国は、2007年に「障害者の権利に関する条約」に署名をしました。それに伴い、国内法が整備され、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」が定められました。

これらのことで、権利侵害の防止、人権尊重の実現に向けた取り組みが層強化されます。この条約の中に定められている「合理的配慮」という考え方は、障がいをもつ方一人ひとりの必要性やその場の状況に応じた変更、調整をするということと、誰もが社会参加し、安心して暮らすことができるために重要なものです。

また、「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」には、虐待を発見したら通報することが義務だと定められています。通報という言葉を重く受け止めず、地域の中で気になることがあればまず誰かに相談すること、それが、虐待が起こらない社会をつくっていくことにつながります。

誰もが安心して暮らせる地域を作るために必要なこと

本人のことを、呼びすてやあだ名ではなく、名前で〇〇さんと呼ぶことなど、人権を大切にすること、相手を尊重すること

で、虐待につながることはなくなると思います。

そして、人は一人ひとりに可能性があり、世の中に役に立たない人などいません。障がいをもつ方を「支援される人」と捉えるのではなく、その人が活躍したり支える人になるという可能性を信じるのが大切です。また、他人からは良かれと思うことが本人の幸せと致すかは分かりません。決して上から目線にならず、対等な立場、あるいは斜め後ろから寄り添う関わりが必要だと思えます。



## 新聞を通じたつながりづくり

樋渡行政区では、今年度から行政区新聞を作りはじめ、7月17日に第1号が発行されました。

新聞のタイトルは「ふれあい」です。これには、地域の行事が減り、住民同士をつながり、ふれあう機会も少なくなっている中で、地域内での出来事や問題などを共有したいという思いが込められています。

6名の編集委員のみさんが情報を持ち寄って、作成にあたっていますが、なかなか情報が集まらないそうです。

行政区長の藤春俊二さんは、「当面は、4か月に2回の発行ですが、情報が集まれば、発行回数を増やすことも可能になります。今の課題はパソコンで作れる技術を習得すること、いかに情報を収集してくるかとい



うことですね」と話していました。

次回は11月15日に発行するそうです。「みんなで知恵を出し合って、「ミニコミュニケーション」できるような新聞にしていきたい」という目標を共有し、編集作業を続けています。

## 長い歴史を刻んで 大隈 梅ヶ谷酒造

大隈地区には、歴史ある酒造が3軒あります。その1つ、梅ヶ谷酒造9代目社長の永富保一郎さんに、酒蔵の歴史や煙突のことについて伺いました。

天保5年からの歴史をもつ梅ヶ谷酒造の名前の由来は、明治初期の社長が15代横綱梅ヶ谷藤太郎の大ファンだったからだそうです。今も店内には、昭和34年に梅ヶ谷の追善供養相撲興行があった際に酒を贈った写真が飾られています。敷地内には、「ウメカタニ」と書かれた大きな煙突

があります。この煙突が建てられた大正時代は、窯で米を蒸す際に石炭を用いることが主流だったため、非常に火力が強く、大量の煙を排出していました。そのため、周囲の建物よりも高い所に排気口を設けなければならず、とても高い煙突となったそうです。この煙突は、半世紀以上大隈の街並みを見守り続け、地域の方々に親しまれています。永富さんは、「これからも煙突を大切にしていきたい」と思っています。しかし、老朽化も進んでいるため、心



15代横綱 梅ヶ谷藤太郎

配しています。」と、話してくださいました。また、「昔から梅ヶ谷の酒を飲んでくれている地元のお客さんを、これからも大切にしていきたいと思えます。」と語られました。



## 仕事や生活、家計のことで困ったら

# まずは **かま自立相談支援センターへ** ご相談を!

稲築庁舎別館に開設している『かま自立相談支援センター』は、失業して収入がなくなった、仕事がなかなか決まらない、年金がわずかで生活が苦しいなど、様々な理由で生活に窮する方々の相談を幅広く受けつけています。相談支援員が寄り添いながら、どうしたらよいかを一緒に考え、問題解決までサポートしています。お困りの方は一人で悩まず、ご相談ください。

### 相談支援のながれ

はじめに、相談支援員がお話をじっくりお聞きし、問題を整理します。

たとえば、こんな場合は…

**1** 年金がわずかで、生活が苦しい。



収入が保護基準を下回っている場合は、生活保護へつなぎます。今日の食事のままならないという場合には、センターで備蓄している食品を提供します。

**2** 借金があり、公共料金も滞納しているなど、家計のやりくりができない。



家計の見直しを一緒に行います。その中で、必要があれば、法テラスなどと連携し、債務整理などにつなげます。

**3** 仕事に就きたいが、なかなか決まらず生活が苦しい。



お金がなく、ハローワークへ行くことさえ難しい場合には同行します。また、ハローワークの求人情報のほか、利用できる制度などの情報を提供します。



#### 対象となる方

嘉麻市にお住まいの方で、経済的な理由などによる生活にお困りの方、仕事に就く自信がない方や見つからない方など。(生活保護受給中の方は除きます)

#### 相談窓口

月曜日から金曜日(祝日・年末年始は除く) 午前8時30分～午後5時まで  
電話での相談は24時間365日対応します。

## TEL 0948-43-4751 (直通)

※相談は無料、秘密は守ります。周りの方からの相談もお受けしています。

※センターは、生活に困っている方々の支援を通じて、同じような状況の方をうまい地域づくりを目指しています。

## 市民フォーラムのご案内

私たちが暮らす現代の社会には、高齢者や障がい者への虐待、様々な手口による消費者被害など、権利を侵害される出来事が数多く発生しています。

平成12年に成年後見制度が施行され、申立件数が増加する中で、後見人の受け皿づくりという課題が出てきていて、新たな担い手としての「市民後見人」の活動に期待が寄せられています。

そこで、これからの成年後見制度と市民後見人の役割について学ぶフォーラムを下記のとおり開催します。ぜひご参加ください。

- 日時 平成27年11月13日(金) 10時30分～12時
- 場所 夢サイトかほ 嘉麻市大隈町1228番地1
- 内容 みんなの力で地域を支え合うフォーラム  
「市民後見人の役割と成年後見制度の行方  
～2025年問題を考える～」(仮題)
- 講師 NPO法人 高齢者・障害者安心サポートネット  
理事長 森山彰氏

## 成年後見制度 Q&A

Q

後見人の職務である財産管理とは、どのようなことですか?



A

財産管理とは、本人の財産を適正に管理することです。

具体的には、印鑑や貯金通帳の保管・管理、不動産の維持・管理、保険金や年金などを受領、介護サービス等の締結、必要な経費の支出、生活資金捻出のための動産及び不動産の処分など広範囲に及びます。

また、本人が行った法律行為について、その取消を求めることも、重要な財産管理行為です。



本会では、日々の活動を紹介したり、いろいろな福祉情報を素早くお届けしたいという思いで、ホームページで、日記『嘉麻市社協のブログ』を書いています。そこから抜粋してきた記事をご紹介します。ぜひご覧ください。 <http://kamasyakyo.chobi.net/worldpress/>

2015年 8月13日(木)

かま自立相談支援センターに、「今日食べるものがなく困っている」といった相談が寄せられました。そこで、軽費老人ホーム稲穂園(山野)に協力をお願いし、お弁当を作っていました。

また、「数日間きちんとした食事かとれていない」との相談もあり、8月7日(金)と10日(月)には、障がい者支援施設清浄学園(漆生)でも作っていただきました。受け取った方々は、栄養バランスのとれた豪華なお弁当に、とても喜んでおられました。



2015年 9月10日(木)

今日は、10周年記念事業事前学習のフィールドワークを水俣で行いました。

初めに、水俣病地点の地である百間排水口を見学し、その後、水俣病歴史考証館に行きました。考証館では、たくさんの資料を見せていただき、水俣病の歴史を振り返りました。また、職員の永野さんから、水俣病の患者であることをなかなか言えなかったことや、今、なお、声に出せない複雑な思いを抱えておられる方が多いことも伺いました。

次に、社会福祉法人さかえの杜「ほっとはうす」におじゃましました。ここでは、水俣病の患者さんや障がいを持つ方が働き、集い、交流する場です。ちょうど宗像中学校の生徒さんが来られていて「水俣病から宝物を伝えるプログラム」で6名の方から話を伺いました。水俣病の辛い経験だけではなく、今を生き生きと過ごしておられること、同じ病気で困っている方を思いやる気持ちも語られました。

人と人がつながることの大切さと支えあうことの尊さを教えていただいた貴重な時間となりました。



百間排水口



ほっとはうすのみなさんで描かれた絵

## 参加者募集

### 在宅介護者の集い

在宅で介護をされている方々が、いろんな情報交換をし、楽しくリフレッシュしています。

10月8日(木)

稲築住民センターにて(岩崎1-43番地3)

11月12日(木)

山田ふれあいハウスにて(上山田502番地6)

※時間はいずれも13時～15時までです。

### ひきもり家族の集い

自宅中心の生活を送っている方で、家族で、いろんな悩みを話したり、情報交換をしたりしています。

10月22日(木)

11月26日(木)

※時間はいずれも13時30分～15時30分までです。

### フリースペース

家から歩外に出て自由に過ごせる居場所です。話をしたり、パソコンをしたり、と過ごしたいことを自分で決めていきます。

10月1日、8日、15日、29日

11月5日、12日、19日、26日

※ひきもり家族の会フリースペースの開催場所は

はいずれも寄つてこハウスで、時間は13時30分～15時30分です。

支えあいのまちづくりサポーター養成講座

嘉麻市社協が設立されて10周年の節目の講座を開催しています。

第8回テーマ 水俣病と家族の歩み(仮)

講師 水俣病資料館語り部

杉本肇氏

11月18日(水) 13時30分～15時30分

稲築地区公民館

### 《お問い合わせ先》 嘉麻市社会福祉協議会

☎0948-42-0751

Email: tiki@kama.syakyo.com

## 社協だよりクイズ

「読めば答えが見つかるかも」

「広報紙えがお」を読んで、次のクイズにお答えください。正解者の中から抽選で2名の方に、図書券(千円分)をプレゼントします。

### 問題

障害者の権利に関する条約の中に定められている、障がいをもつ方一人ひとりに応じた変更や調整をするという考え方を何と言っていますか？

- (1) 合理的権利
- (2) 合理的配慮
- (3) 合理的義務

### 応募方法

①クイズの答え、②広報紙の感想、③郵便番号・住所、④氏名、⑤年齢、⑥電話番号をご記入の上、10月31日(必着)までにハガキ、またはEメールにて応募ください。

●送付先 〒820-0205

嘉麻市岩崎1-43番地3

嘉麻市社会福祉協議会

E-mail: tiki@kama.syakyo.com

### ●前号のクイズの答え (1)

第4回支えあいのまちづくりサポーター養成講座で講演してくださったアーサー・ビナードさんは「カド」という言葉を使ってみて、変わることを実感したのは、「自分の立ち位置」でした。

応募のあった方から社協だよりの感想をいただきましたので、紹介します。

・高齢者にとって快適に生活できたら助かりますね。  
・地域支えあい事業が利用しやすくなりました。「の表」は、保存しておきます。今月の「冊」お医者さんは神様ではなごいを買って読みます。

※「冊」の表紙に「えがお」のイラストが描かれています。

## 台風15号 災害救援ボランティア活動

8月25日(火)の早朝に最接近した台風15号は、嘉麻市にもたくさんの被害をもたらしました。

これに伴って、台風通過直後から、本会のコミュニティソーシャルワーカーが担当地区をまわり、被害状況を確認するとともに、被災された方々の困りごとなどを訪ねて回りました。

また、被災された方で不安なことや困りごとのある方は災害ボランティアセンターに相談いただけるように、チラシを配布し、20件の相談が寄せられました。

通路に落ちたトタンの撤去や、倒れた倉庫の片付けなどについて、センターに登録されているボランティアさんに協力を依頼し、活動を行いました。

災害はいつ起こるかわかりませんので、嘉麻市で被害が発生した場合に、協力していただけるボランティアを募集しています。特に技術や経験は必要ありません。ぜひセンターにご登録ください。



水路にたまった砂や葉などを取り除くボランティアのみなさん

### ボランティア情報

#### 運動会のサポート

～福岡県立嘉穂特別支援学校運動会～

**日時** 平成27年10月17日(土)  
8時45分～12時30分  
※雨天の場合は18日(日)に延期となります。

**会場** 嘉穂特別支援学校運動場

**内容** テント内での児童・生徒の見守り  
や道具の出し入れの補助

**募集人数** 5名

**募集締切** 10月14日(水)

**その他** 当日は動きやすい服装でお願いします。  
昼食は主催者で準備します。

### イベント情報

#### 精神障害者家族・当事者の 相談員による相談会

精神障害に係る医療・福祉サービス・生活全般について、障害者をかかえる家族・当事者の相談員(嘉麻市精神障害者相談員)が、同じ悩みをもつものとしてお話をうかがい、共に考えます。相談スペースは広い和室なのでよろしければ障害当事者の方の同伴もどうぞ。個人情報やお話の内容など、秘密を厳守します。予約は不要。相談無料です。

**とき** 毎月第4土曜日13時30分～16時

**ところ** 山田生涯学習館(上山田駅跡地)和室

**問合せ先** 嘉飯山地区精神障害者家族会いずみ会  
事務局 ☎0947-45-1876(辻田方)

毎月第3木曜日13時30分より、嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所の一室にて定例会を開いています。多くの人の経験を学べます。自由に参加できます。



# 新装版 苦海浄土 わが水俣病

著者：石牟礼道子氏  
発行所：講談社文庫



この本には、公害病として知られている水俣病がどれだけたくさんのもを奪い、傷つけてきたのか、また、それにより悩んでこられた方たちの生々しい声が、水俣の言葉で綴ってあります。水俣病とは、チソン工場が水俣湾に流した工場廃水により、汚染された魚を知らずに食べていた

## 11月の総合相談

法律相談は予約が必要です。先着順となっていますので、お早めにお申し込みください。

### 法律相談

- とき：11月5日(木) 13:00~16:00  
ところ：山田ふれあいハウス
- とき：11月19日(木) 13:00~16:00  
ところ：稲築住民センター

### 心配ごと相談

- とき：11月11日(水) 13:00~15:00  
ところ：稲築住民センター
- とき：11月25日(水) 13:00~15:00  
ところ：稲築住民センター

嘉麻市社会福祉協議会  
☎0948-42-0751

方たちがおかされた病で、魚に含まれていたメチル水銀で脳や神経の細胞が破壊されます。手足のしびれや頭痛、言葉をはっきり話すことや歩くことができないなど様々な症状に日々苦しまれていて、水俣病が発生してから、人々の暮らしやつながりが変わっていく様子が事細かく書かれています。また、水俣病が発生した不知火海は、魚わく海と言われていたそうで、その美しさや豊かさを憶ぶ言葉もたくさんできます。この本から浮かび上がる患者さんへの差別は、大変過酷で読んでいて心に迫るものがあります。家族や地域のつながりまで奪ってしまったことの罪深さを感じながら、同時に私自身にもその罪が問われている気がしました。私は仕事で水俣のことを知るまで、公害病の一つとしか知りませんでした。この本は、水俣病で苦しんだ方や家族の声だけでなく、裁判をめぐる動向、様々な資料も綴ってあります。水俣病事件に様々なことを映して何が見えるのかを考えることができました。

(きはら)

## 炭鉱の記憶

No. 103

飯塚市在住の大塚恵美子さんからメールで、山野炭鉱に関するたくさんの方の写真を送っていただきました。

大塚さんのお父さんは、昭和39年6月23日に、三井山野炭鉱で落盤事故にあり、脊椎損傷の大けがを負いました。それは、新婚旅行から1か月後、大塚さんはお母さんのおなかの中にいる時の出来事でした。



山野病院で撮影

それから間もなくして生まれた大塚さんが、入院しているお父さんと初めて会った写真が右下のものです。

お父さんは、およそ24年間、ほとんどの時間を病院で過ごし、他界されました。大塚さんは、「お父さんに孫を抱いてもらうこともできて、家族で幸せな時間を過ごせた」という思いを持つとともに、「自分は何の義務も果たしていないのではないか」と考えるようになり、少しでも何かの役に立てばという思いで、今回写真を提供することにされたそうです。

メールの文章の最後には、「炭鉱で賑わっていた当時と今の鴨生を見比べると、寂しく感じることもありま



リング組み立て作業完了時の写真



壱坑開盤完了祝賀会の様子

炭鉱時代の懐かしい写真や思い出などを募集しています。嘉麻市社会福祉協議会までご連絡いただければ幸いです。

☎0948(42)0751

# 今月のえがお

最近、えがおになった出来事を  
教えて下さい!!



コスモスコモンで開催された、愛いっぱいコンサートに出演しました。トウインクルキャッツの仲間と合奏したり、踊ったりして、とても楽しかったです。(´▽`)



古賀 友理恵さん



やまと  
小林 大和さん

8月15日が誕生日でした。プレゼントでゲームを買ってもらったことが嬉しかったです。

## 山田ふれあいハウスからのお知らせ



### ■風船でいろいろな形がいっぱいできたよ!

8月23日(日)、山田ふれあいハウスでバルーンアート教室を開催し、親子19名が参加されました。

講師の平塚由香利さんの説明を聞きながら、細長い風船にポンプで空気を入れるところから始まり、キリンや犬、花などの作品を作りました。子どもたちは、お父さんやお母さんに手伝ってもらいながら、動物の形になっていくのがとても楽しそうでした。参加されたお母さんは、「風船をひねる時に割れないかどきどきしましたが、作品がたくさんできると、嬉しくなりますね」と話されていました。



### ■閉館時間変更のお知らせ

平成27年11月1日(日)から平成28年3月31日(木)まで閉館時間が午後5時になります。

連絡・問い合わせ先/山田ふれあいハウス 嘉麻市上山田502番地6 TEL 0948-52-1847

嘉麻市  
社会福祉協議会指定  
葬祭場紹介

## きど葬祭やまさ碓井斎場

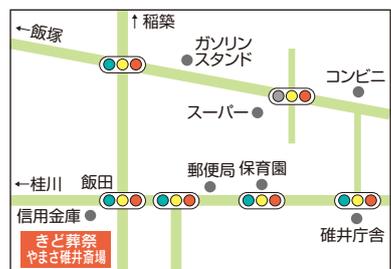
嘉麻市飯田214-1 ☎(0948) 62-4499

高齢化社会が進む中、お葬式の施行内容や金額などが見直されています。

時代のニーズに対応した「きどやまさ倶楽部」には、様々な会員特典がついています。

この機会にぜひご入会ください。  
スタッフ一同、真心込めてお手伝いさせていただきます。

葬儀申し込み時に、「嘉麻市社会福祉協議会指定でお願いします」とお伝えください。葬儀にかかる費用の一部について割引を受けることができます。



嘉麻市社会福祉協議会指定葬祭場は、きど葬祭やまさ碓井斎場を含め、市内に8ヶ所あります。

ひさつね会館	☎52-0758	善光会館 稲築会場	☎83-5000
いすや会館	☎57-4444	おかむら葬祭岡村会館	☎42-4420
セレモニーホールおおつか	☎52-1212	飛鳥会館 南斎場	☎42-4241
かほ葬祭 あじさい会館	☎62-5566		



# ふるさとへの手紙 No.116



埼玉県上尾市 在住  
梅田 嘉昭さん  
飯田出身

## 先生方の情熱に育まれて

小学校四年の二学期(昭和二十八年一月)飯塚から転校してきた私が最初に見た碓井小学校の校舎は、石炭乱掘の煽りを受けて地盤沈下して出来た水溜りの中に半分傾いて建っていました。にも関わらず、驚いたことに体育の教科が活発で、特にドッジボールが強く、転校生の私は強烈なボールをビシバシ決められしヨックー!

翌年、約一キロ離れた所に小学校の新校舎が完成し、子ども達の手で教室の重い椅子や机を運びましたが、不平不満は全く聞こえませんでした。皆、素直に先生の指示に従いました。当時の私たちは、先生は天皇陛下の次に偉い人だと信じていましたから。

クラスメートの、可愛い女の子二人の研究発表によると、昭和

二十九年年度の日本の国家予算は約一兆円でした。豊饒と、今も山田市で、社会福祉活動に尽力されている加藤宝先生の、幅広くユニークな教育理念と熱い思いが伝わってきます。

中学二年生の三学期、朝、目覚めると二面の雪景色、少しハイになつて登校すると「今日は全校生徒、長谷山へ雪中行軍」との校内放送。ヤッホー!これも日本が敗戦から立ち直り、発展して行く良き時代の、元氣な日本の二面だったと懐かしく思いだされます。

それにしても、千手村を経て標高八百六十メートルの古処山への遠足はキツカッタ。帰路、道端の家から漂う魚を焼く匂いで、空腹を刺激された時は…たまらんかったバイ!

先生方のご指導を得て、自分で栽培した野菜を、ザル入れて飯田の街へ売りに出かけ、オバサン達に買って頂いた事、学校の帰り路、友人達と柿ドロボウをした事等々… 楽しい思い出達、有難う!昭和三十三年碓井中学校を卒業した私たちは、此れまで度々同窓会を重ね、今年五月には諫早へ泊二日のバス旅行を行いました。メはいつも…月が出た出た…の炭鉱節です。

## コラム 交差点

### 「若い世代へ伝えたいこと」

私は、学校を退職後も、若い世代への熱い思いをもっています。

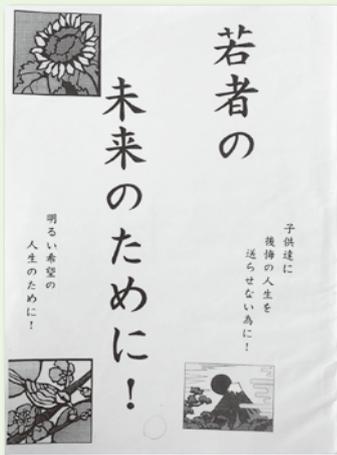
市内の中学校へ自作のカレンダーを持つて伺うのも今年で3年目です。そのカレンダーには、私がこれまでの人生で学んだことを書いています。

「人生はただ一回限り だからこそ今日二日を力いっぱい生きねば」

「言葉は相手を傷つけるものであつてはならない。愛情、激励、信頼、やさしさの表現の為につかうものである事を知ってほしい」

それぞれの中学校で、子どもたちがこのカレンダーに出会い、私が綴った言葉を読み、何かを感じてくれたらと希望に胸を膨らませ、日々を送っています。

(宮地 西川光義)



## 編集後記



今月の一冊として紹介している「苦海浄土」では、水俣の方言がたくさん出てきます。先日、水俣で実際に「のざり」とは、海、山、川、里の恵みが思いがけず手に入ることだと教えて頂き、現場からの声の尊さ、重さを感じながら、読み直しました。(きはら)



芹田さんのお話を伺い、一人ひとりの人権の尊重が大切であることについて改めて考えることができました。一人でも多くの人と共有し、誰もが安心して暮らせる地域をつくっていききたいと思えます。(みぞくち)



台風15号の災害ボランティアとして多くの方にご協力いただきました。現場で、みんなで協力しあって、作業を進められる姿がとても心強く、そして頼もしく思えました。感謝の気持ちでいっぱいです。(たけがわ)



ホットニュースの樋渡行政区の取り組みについての取材に同行しました。始めたきっかけや思いを聞かせていただき、とても熱い思いが伝わってきました。このような取り組みが広がってほしいと思いました。(あかま)



心配ごと相談ではさまざまな相談を受け付けていて、相談員の方がじっくりとお話を伺います。また、社協では電話やメールでの相談も受け付けていますので、一人で考え込まずにご相談ください。(まる)



ホットニュースの取材に梅ヶ谷酒造に伺い、酒造りに大切なことを教えていただき、道具も見せてもらいました。大隈地区は、ほっとするような雰囲気があって、この街並みがいつまでも残ってほしいと思いました。(ごうはら)